あさがお

第18号
2009/10/15発行
大津市浜大津 3-2-4
NPO法人 あさがお
発行人　鎌田昭二郎

～地域支援員として　半年間の活動を経て～

【木村　好美】

二年間の研修後、あさがおの活動に一緒に参加させていただいています。最近、被後見人の方々の名前とお顔が一致するようになりました。月に一度の訪問ですが、お顔が目に浮かぶようになってから、お訪ねするのが不安なような楽しみのような、なんともいえない気持ちです。高齢の方を訪問するときは、どうしても、私の親を重ね合わせて見てしまい、色々と思うことがあります。まずは、一人一人の利用者さんと向き合うことが大切だと思いました。

【小浦　眞弓】

いつの間にか半年がたってしまった。わずか半年の間に、胸が苦しくなるような事も、心が温かくなるような事も経験させていただいた。それだけ、この仕事の厳しさを現しているのではないだろうか。あさがおの相談員の人は、皆熱い、そして人間臭いと思う。事務所の中は、いつも明るいし、問題もうまく共有しておられることに感心する。やはり、すごいプロフェッショナルな人達なのだ！そんな中で、この仕事に関わらせていただいていることに感謝である。

【谷口　啓】

私が訪問している皆さん方は、御一人を除いて女性の方ばかりで、年齢は亡くなった母より少し下の方がほとんどである。ともすれば晩年の母を見ているようで何やら妙な気分になることもある。母は認知症を患い、本来なら絶対口にしないようなことを言ったものである。皆さんは母のような行動はとられない。心の中に思いを秘めておられるのか、奥深いものを見ておられるのか。私は横にいてそっと手に触れ、じいーっとお顔を見つめることを心掛けている。

【山本　圭一郎】

週に三～四名、月に約十五名の健康状態、支援状況、要望事項などを知るために、被後見人、施設職員にお会いしています。被後見人の健康状態、精神状況などは訪問毎に変化していることが多く、まだ手探り状態で緊張もあります。訪問日に車椅子で園内を散策できるのを楽しみに待っておられ、満面の笑みで迎えてくれる方もおられます。また、訪問毎に体調が低下する方に声を掛けることもあります。これから、多くの方と新しく出会えることに期待しています。

全国権利擁護ネットワーク（ASNET-JAPAN）設立総会に参加しました！！

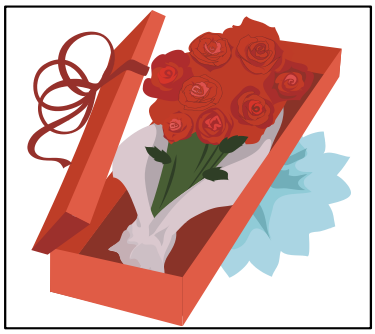
９月５日、西宮市において「全国権利擁護ネットワーク設立総会」が開催され、運営委員の一員であるあさがおからも参加しました。この集まりは、全国各地で権利擁護支援の実践を積み重ねている団体同士の交流の場として、NPO法人PASネットの呼びかけにより実現しました。

全国から22団体が集まり、総会後の拡大運営委員会の場では地域単位と全国規模のフォーラムの開催に向けて活発な討議が行われました。今後は各々が相互に学びあい、協働することによってそれぞれの活動を充実させ、だれもが地域で安心して暮せるためのシステムの構築という目標の実現に向けて期待をしているところです。

～後見活動日記～

長い施設生活の中で、これまで体調を崩すことがほとんどなかったBさんが、息苦しさを訴えて救急受診することになりました。病院で面会したBさんは、弱々しく、とても小さく見えました。担当医から、入院が必要な事、息苦しさの原因は肺にできた悪性腫瘍であり、他の大切な臓器にも転移し、命の残り時間は少ないという事、の説明がありました。

Bさんは、施設や職員さんに馴染み、これまで穏やかに暮らしてきました。面会に行くたび、にっこり優しく微笑んで、多くを語ることはほとんどありませんでした。Bさんの担当になり一年近くが経っていましたが、正直言えば、これといった問題もなく、じっくり関わることも少なく、後見人にとって印象の薄い被後見人さんだったように思います。

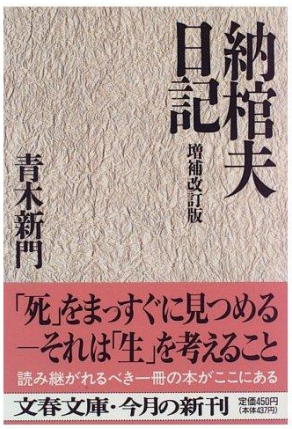


酸素療法で一時的に少しだけ回復したBさんは、後見人が面会するたびに、またあの笑顔を見せてくれるようになりました。身寄りのないBさんには、大変な事が起こっているのに面会に来てくれる家族はいません。後見人はBさんが少しでも寂しい思いがないようにしたいと思いました。慣れ親しんだ施設の職員さんに呼び掛けると、休日を返上して面会に来てくれることもありました。母の日には、同室患者のご家族から、赤い膝掛けがプレゼントされることがあり、Bさんの人柄が後見人にも伝わってきました。

入院から一か月、Bさんの笑顔が次第に見られなくなり、お別れが近づいた時、人生の、命の大切な時を迎えるBさんの傍らで、後見人はとても無力でした。これまでBさんにどんな事が出来ていただろう、Bさんの事をどれだけ解っていただろうか・・・そんな後悔ばかりが押し寄せてきました。そんな中、一日に何度もBさんを訪ね、『いつもそばにいるからね』と耳元で頭を丁寧に撫でながら声を掛けてくれた看護師さんたちに、どんなに感謝したかわかりません。それから間もなく永眠されたBさんの前髪は綺麗に後ろに流れていて、看護師さんにたくさん撫でてもらったあとがしっかりと残っていました。

最期の時、Bさんの寂しさが少しは和らいでいたのならいいな・・・Bさんが亡くなってなお、後見人にはそのことがとても気掛か

書籍の紹介



納棺夫日記
青木　新門／著
文春文庫

第二期「地域支援員養成基礎講座２００９」開講いたしました！

七月九日に第二期の地域支援員養成基礎講座を開講いたしました。本講座には、三十～七十歳代という幅広い年代の十一名の受講生が参加しています。大津で活動する高齢者・障がい者などの領域のすばらしい講師陣をお招きし、基礎的な講義をうけてもらっています。十月には高齢者施設・障がい者施設での現場実習を予定しています。

この講座などを通じて、地域における支援の輪が大きく、強いものになることを願っています。

高齢者虐待防止シンポジウム を開催しました

七月十七日、ピアザ淡海にて「みんなでまもろう　あしたの介護」をテーマに、滋賀県と当法人主催の高齢者虐待防止シンポジウムを開催しました。お陰様で多くの方にご参加いただき、大盛況で終えることができました。

基調講演では、立命館大学産業社会学部の津止正敏教授をお迎えし、「介護支援政策への提言―男性介護者研究から―」と題しご講演をいただきました。これまでに家事や介護スキルを期待されていなかった男性介護者が、介護に直面して起こる様々な戸惑いや介護実態、支援の難しさを改めて知ることができました。また男性介護だけではなく、介護全体の問題や虐待の問題と、「介護の社会化」が深く関わっているという点も再認識することができました。

シンポジウムでは、「介護者支援を考える」をテーマに、津止先生に進行をお願いし、三名のシンポジストの皆さまにご報告をいただきました。男性介護者、民生委員児童委員、地域包括支援センターのそれぞれの立場から、介護の経験と地域や専門職としての男性介護者支援の実態など、具体的な事例を交えて分かりやすく報告していただきました。

会場からの発言もたくさん頂戴し、活発な意見交換ができ、有意義な時間を過ごすことができました。終了後のアンケートでは、「身近な体験談で参考になった。」「違った立場から考えると多くの問題点と解決策があるのだと興味深かった。」などのご意見を多数頂きました。

基調講演及びシンポジウムでは、冒頭にあげた研修のテーマを考える上で多くのヒントを頂くことができました。これからも介護のあり方や介護者支援のあり方について、それぞれの立場で考えていきたいと思います。

外から見たあさがお

膳所あんしん長寿相談所　菅　浩一

わたしはあさがおの職員ですが、地域包括支援センター（あんしん長寿相談所）に出向職員として勤務しています。そこで、「関係機関の目」でみた『あさがお』を紹介してみたいと思います。あさがおの特徴・魅力は、後見業務において《その人らしい生活》が送れるように支援を行っていることです。そのために、個別ケースについて随時・定期的に専門家の助言を得ることのできる体制も整えられています。このような活動を日頃からご支援いただいている他職種・他団体との連携の中で、さまざまなケースに対応できることは、あさがおにとっての強みであると感じています。

大津市においては、身近に相談できる「あさがお」が存在しています。しかし、県内の他市町においては、権利擁護に関して相談できる外部の中立的な機関はほとんどなく、各相談機関で抱え込んでいることが多いのではないでしょうか。今後、あさがおのような機関が各地にどのように拡がっていくか?どう拡げていくのかが問われていると思います。

相談事業・法人後見事業の進捗状況のご報告

相談事業（受託事業）

【新規相談件数】平成 21 年 4 月 1 日～9 月 30 日　　（件）

月　別	大津市事業	滋賀県事業	近江八幡市	合　計
4　月	22	9	0	31
5　月	15	13	0	28
6　月	30	15	9	54
7　月	29	8	10	47
8　月	6	1	13	20
9　月	13	5	12	30
合　計	115	51	44	210

法人後見

【法人後見等活動件数】　　（件）

年　度	月	後　見		保　佐		補　助		合　計	
		受任	終了	受任	終了	受任	終了	受任	終了
17 年度	合　計	10	0	2	0	1	0	13	0
18 年度	累　計	40	2	6	1	3	0	49	3
19 年度	累　計	59	8	15	2	6	0	80	10
20 年度	累　計	78	13	19	4	8	1	105	18
21 年度	4　月	1	0	0	0	0	0	1	0
	5　月	1	1	0	0	0	0	1	1
	6　月	0	0	0	1	0	0	0	1
	7　月	0	0	1	0	0	0	1	0
	8　月	1	0	0	0	0	0	1	0
	9　月	1	2	0	0	0	0	1	2
	合　計	4	3	1	1	0	0	5	4
	累　計	82	16	20	5	8	1	110	22

＊9 月末現在、88 件を受任しています。

今月の一句

雷公の　地球蹴り合う　末世なり

加藤風信旗

＊＊＊会員募集しています＊＊＊

私たちの活動に賛同・支援していただける個人・法人の会員を募集しています。

個人会員	入会金　1,000 円	年会費　5,000 円
団体会員	入会金 10,000 円	年会費 50,000 円

詳しくは、あさがお（077-522-0799）までお問い合わせ下さい。